

政務活動費出金票

出金日	令和 7年 7月 1日
項目	① 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘要	・自治体・公共 Week 2025 ・新人議員研修 全国キャラバン
金額	40,651 円
支出内訳	① 宿泊費 21,321 円 (7月3日、4日の2泊分) ② 交通費 18,330 円 (黒部宇奈月温泉⇄東京都内) ③ 受講料 1,000 円 (新人議員研修全国キャラバン)

agoda
●●●●●

住所:
Agoda International Japan株式会社
東京都港区
恵比寿南1-7-9
恵比寿リクスワンEBC
予約番号 1021831877
支払日 June 16, 2025

領収書

領収書		領収明細	
名称	AKIO NUMURA 魚津市議会 よつば	品名	Hotel Uzenma Takasurobata-Gumae
請求者住所	魚津市東通2-10-1	期間	July 3, 2025 - July 5, 2025 (6食・2泊)
Eメールアドレス	yoatz@akio.numura@gmail.com	部屋タイプ	Seven Double Room - Extra Smoking
		部屋数	1
		エクストラベッド数	0
		客室合計金額	USD 154.57
		エクストラベッド合計金額	USD 0.00
		Discount	USD 7.75
		前金合計	USD 146.84
		合計お支払い金額	JPY 21,321 (USD 146.84)

この領収書は自動的に生成されています。

領収書
発行年月日 2025-6-27 金額 ¥18,330 (消費税別) 領18

購入商品 JR東海東横
00077-68
西日本旅客鉄道株式会社
黒部宇奈月MKT1旅行 20077-02

印鑑証明書
付につき大津
税務署承認済

おっぷの明細

2025年7月3日
ひとり1人
区別
黒部宇奈月温泉 - 東京有線フリー (住税) (課 税あり)
利用明細
領収日: 2025年7月3日
列車: 新幹線はくたか554号
区別: 黒部宇奈月温泉 - 東京
乗車日: 2025年7月5日
列車: 新幹線はくたか573号
区別: 東京 - 黒部宇奈月温泉

領収証

2025年7月3日



魚津市議会 よつば 野村明男 様

¥1,000

地方議員研究会
〒630-0001
大阪府大阪市
大阪駅前第2ビル
TEL 060-4

野村明男

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承認	会派会長印	経理責任者印
		

氏名 野村 明男

政務活動費旅費計算書

会派名

よつば

金額



39,651 円

(1人あたり)

39,651 円)

用務	自治体・公共Week2025 / 新人議員研修全国キャラバン							
旅行先	東京都江東区有明 東京ビッグサイト/東京都新宿区西新宿 リファレンス西新宿大京ビル							
旅行期間	2025年 7月 3 日～ 2025年 7月 5日(2泊 3日)							
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計		
鉄道賃	自	黒部宇奈月温泉 駅	至	東京 駅	円	円	円	18,330 円
	自	駅	至	駅	円	円	円	円
	自	駅	至	駅	円	円	円	円
	自	駅	至	駅	円	円	円	円
	自	駅	至	駅	円	円	円	円
車 賃	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計		
	自	至	円	円	円	円		
宿泊料	2 泊分					21,321 円		
その他(駐車料金等)	(内訳)					円		
備考	鉄道賃 黒部宇奈月温泉駅ー東京首都圏フリー(往復)(乗車券あり)							
合計	39,651					円		

旅行議員氏名 野村明男

承認印	
会派会長	経理責任者
	

視察報告書

作成者：魚津市議会 よつば 野村明男

自治体・公共 Week 2025

場所：東京都江東区有明 東京ビッグサイト

主催：自治体・公共Week 実行委員会

後援：総務省、全国市長会、全国町村会

日時：2025年 7月 3日（木）～ 4日（金）

概要：自治体・公共 Week 2025 は、地方自治体や公的機関の現状と課題、それらの取り組みを広く紹介するイベントで、自治体の政策や住民サービス、公共施設の役割などについて情報発信が行われた展示会及び講演などが開催された。

「自治体DX展」では、AIを活用した窓口業務の効率化や行政手続きのオンライン完結、システム標準化支援など、自治体業務の抜本的な改善につながる提案が目立った。単なるITツールの導入にとどまらず、「職員の創造性の確保」「住民サービスの質の向上」といった本質的な価値を見据えたソリューションに、来場者の高い関心が集まっていた。

「地方創生EXPO」や「スマートシティ推進EXPO」では、MaaS（次世代交通サービス）による地域交通の最適化、関係人口を増やすためのユニークな観光コンテンツなど、テクノロジーとアイデアを融合させた、持続可能なまちづくりの姿が提示されていた。

講演：2日間にわたり4つのテーマ（自治体DX・カーボンニュートラル・地方創生・地方創生2.0）が目指す地域の未来についてのセミナーに参加した。

聴講セミナーは以下の通りである。

セミナー1：自治体DX推進事例（7月3日 11:50～）

「地方発DXの最先端を目指す福井県の挑戦」

講師 福井県未来創造部 DX推進監 前側 文仁 氏

○人口約74万人の福井県。交通事故の多さや雪の多さなど、そうした地域特有の課題に対し「もっと挑戦、もっと面白く」をキーワードに、徹底的に現場にこだわり、全員参加でこれまでの仕組みの改善・変革にチャレンジする地方発のDX先進県を目指していた。

具体的な実践として、1、ふくい式20%ルール、2、チャレンジ政策提案、3、政策トライアル予算、4、クレドアワード（表彰）などがあり、職員が創造的な活動をする場と機会の提供に腐心していた。

成功のポイントは、内発的動機付け（自分はこうなりたい、これを実現したい等）意欲や関心が行動の原動力になっていると話された。

セミナー2：地域のカーボンニュートラル先進事例（7月3日 13：40～）

「地域と共に循環型社会に貢献し、カーボンニュートラルを実現する」

講師 佐賀県 佐賀市市長 坂井 英隆 氏

田中鉄工（株）代表取締役CEO 村田 満和 氏

○ゼロカーボンシティの実現には、自治体と民間企業がそれぞれの立場と強みを活かし、連携・共創しながら課題解決に取り組むことが不可欠であり、官民連携の地産地消型・循環モデルを紹介された。「リッチローカル佐賀市」をスローガンに、経済的豊かさから市民の幸福度や体験の豊かさを目指しておられた。排出されたCO₂を経済活動に結びつけ有効活用にする脱炭素から活性炭への発想により、花王や熊谷組など関連企業やプラントが化粧品や藻類培養などに進出してきた環境価値を経済価値に高めていた。ポイントは（一社）バイオサーキュラーエコノミー協議会という産学官の連携にあり、それを市長のリーダーシップで主導していた。

対談では、廃食油を活用したリサイクルの取り組みを軸に、田中鉄工アスファルトプラントメーカーCEOとカーボンニュートラル社会の実現に向けて、具体的な方策と今後の展望について語り合った。例えば廃食油リサイクル場所がスーパーなど100か所に設けられ、回収量がペットボトル30本分とかCO₂〇キログラムと表示して社会貢献量の見えるかを図っていることが市民の意識向上につながっていた。

セミナー3：対談 地方創生のカギを探る（7月3日 15:00～）

「地方創生の新潮流：ピンチをチャンスに変えるカギを探る」

講師 （一財）地域活性化センター理事長 林崎 理 氏

岡山県 真庭市市長 太田 昇 氏

○この10年で地方創生の成功事例が増え、支援の仕組みも整備された一方で、地方は依然として厳しい状況にある。ピンチをチャンスに変えるポイントは「可能性が感じられる地域」になること。その原動力が「地域の民間企業」と「人材育成」である。セミナーでは、地域活性化センター林崎理事長と、地域資源を活かした持続可能なまちづくりを推進する真庭市・太田市長が、いま求められる地方創生の在り方について議論した。

村崎氏からは、地方創生している町が横に広がらないという指摘や10年間の反省として①若者や女性から地方に戻らない理由として「いい仕事がない」「魅力的・安定的な雇用がない」「人生を過ごす点での楽しさがない」②産学官の連携はあるが言いつばなしに終わっていた。一方で良かった点として「インバウンド、デジタル、テレワーク等」が進んだとのこと。

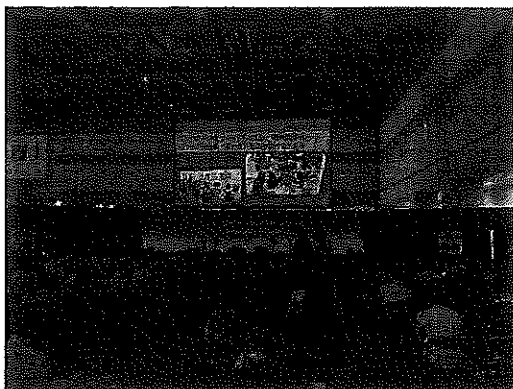
太田市長から、真庭市の林業を生かしたバイオマス発電所の成果、民間からの職員が開発した市民参加型アプリに健康アプリなど様々な機能を入れると介護認定率が低下し介護保険料も50円下げることができた。その際国の交付金をできる限り活用したとのこと。地域おこし協力隊も8割が定着するなど制度を有効に活用していた。

セミナー4：「地方創生2.0」が目指す地域の未来（7月4日 12:30～）

「地方創生2.0に向けた取組」

講師 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局長 海老原 諭 氏

○地方創生がスタートして10年。全国各地で地域の活性化につながる多くの好事例が生まれ、地方創生の成果が現れたが、東京圏への一極集中や地方の人口減少などの課題は未だ残ったまま。石破総理の下、地方創生2.0として地方創生の新たなステージに踏み出した今、これまでの地方創生の取組を振り返りつつ、地方創生2.0の考え方などについて解説された。



【感想】

○自治体公共Week2025に参加し、地方創生の最前線で活躍される自治体首長や元内閣官房、CEO等の方々の熱意と工夫に感銘を受けた。特に地域課題解決に向けた具体的な取組事例や、住民協働を促進するための多様なアプローチについて学ぶことができ、大変有意義な時間となった。

他地域の先進事例を知ることで、魚津市が抱える課題に対する新たな視点や解決策のヒントを得られたことは大きな収穫だ。魚津市ならではの魅力ある地域づくりに貢献できるよう、議員活動をしていきたいと考える。



[TOP \(/ja-jp.html\)](#) > [前回実績 \(/ja-jp/showreport.html\)](#)



初日【7月2日（水）】の会場の様子



スマートフォンに
受講券を送る



受講券

会期：2025年7月2日(水)～7月4日(金)
会場：東京ビッグサイト 南展示棟
主催：RX Japan株式会社

お申込み情報

この受講券は、下記に表示されている講演で使用できます。複数の講演が表示されている場合は、本券1枚で全ての講演を受講できます。

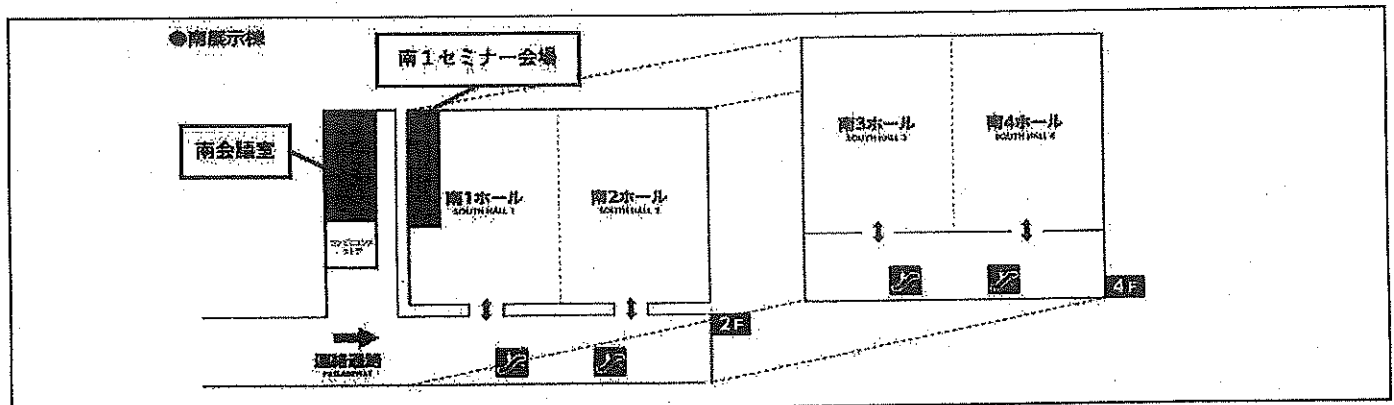
講演ID	講演内容	講演日	講演時間	会場
S-3	地方創生2.0-スペシャルトーク～楽しい地方のつくり方～	07月02日(水)	15:00～16:00	南会議室(セミナー会場)
G-5	自治体DX推進事例	07月03日(木)	11:50～12:35	南会議室(セミナー会場)
G-7	地域のカーボンニュートラル先進事例	07月03日(木)	13:40～14:30	南会議室(セミナー会場)
G-6	【対談】地方創生のカギを探る	07月03日(木)	15:00～16:00	南1セミナー会場
G-K2	「地方創生2.0」が目指す地域の未来	07月04日(金)	12:30～13:15	南1セミナー会場

お客様情報

受付番号	4400957	氏名	野村 明男
会社名	地方公共団体 魚津市 地方公共団体	部署名	

セミナー会場 地図

【東京ビッグサイト 南展示棟】で開催します。セミナープログラム一覧⇒[こちら](#)



注意事項・ご連絡事項

お問合せ

研修報告書

作成者：魚津市議会 よつば 野村明男

新人議員研修 全国キャラバン

場所：東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル

主催：地方議員研究会

日時：2025年7月5日（土）

<研修内容>

議員活動新人研修1（10：00～12：30）

○セミナーで多い質問

- ・提案してもすぐに動いてくれない、お金がないと言われる、一般質問しても執行部にはぐらかされる、良い質問って何か等に明確に答えられた。1回の質問では何も変わらない。

○議員の役割と責任

- ・議会の意思決定、行政監視、政策提案機能を積極的に担うこと。

○1期目にやってほしいこと、注意してほしいこと

- ・主要なテーマをもち、住民の声を聴き、現場を歩く。あるべき姿の課題を見つけ、課題を制度的に分析し、制度の欠陥を見える化し、改正・変更の提案することが大事。

○議員と職員の関係

- ・既存の制度等の内容はある程度の子備学習をして係長に聞く。制度の改善などの要望等政策的なことは課長と話す。
- ・職員から見た議員の見え方には、「長老タイプ」「付和雷同タイプ」「インテリ批判タイプ」「市民はタイプ」「政党人タイプ」「民間至上主義タイプ」そして「合理的思考タイプ」が一目置かれる。筋は通すがゴリ押しをしない。的確な質問・質疑をする議員はリスペクトされる。

○基礎知識としての財政のポイント

- ・「予算がない」とは一般財源がないということ。
一般財源・・・使途が特定されず自由に使える財源・・・これをどう使うか
特定財源・・・使途が特定されている財源
- ・事務事業の財源パターンは4つだけ
 - ① ハード（道路、学校など）・・・補助事業、単独事業
 - ② ソフト（人件費、扶助費、公債費、物件費等）・・・補助事業、単独事業

議員活動新人研修2（13：30～16：00）

○執行部を知る

- ・役所の体質・・・行政とは規制、給付、行政資源取得、契約、事実行為であり、基本的に認

めない主義、現状維持主義、無謬主義である。間違いを認めるとは、首長、議会、上司の責任追及の原因になり、自ら責任を問われるので、間違いをなかなか認めない。ないか起きて問題ないか？この問題は大丈夫かが部局内での議論の中心。見回し、根回し、後回し。三遊間のゴロはとるな。時間がかかる。

- ・予算のスケジュール

9月予算重点項目洗い出し、10月予算編成方針、11月～1月予算要求と査定、3月市長施政方針

- ・決算スケジュール

6月決算作業開始、9月決算資料調製、10月議会による決算審査-認定

○議員が本来的にすべきこと

- ・地域の課題を行政の力によって解決すること＝議員の仕事。段取りが全て。

○役所を動かす質問の仕方の必須条件

- ・質疑や質問の組み立て方

政策提案型、課題責任追及型、自己主張型の4タイプに分けられる。しつこさが大事。

答弁の真意を後日聞く。議論を途切れさせない努力が必要。質問と答弁で終わりにしない。

- ・先進事例導入を提案・質問するときの留意点

他の団体の受け売りや同じようにしたら共感は得られない。他団体の事例は検証に使う。

新聞記事は一般論だから一般楼で回答される。

【感想】

この研修は、今後の議員活動を進める上で非常に示唆に富んだ内容だった。特に印象的だったのは、「予算がないとは一般財源がないこと」という財政の基礎知識と、「職員から一目置かれる合理的思考タイプ」という議員と職員の関係性についての話。これまで漠然と感じていた「提案しても動かない」という壁の背景を理解できただけでなく、それを乗り越えるための具体的なアプローチを学ぶことができた。

行政の「認めない主義」や定型的な答弁の真意を知ったことで、今後は「調査研究した結果は？」や「どう検討しましたか？」と粘り強く問いかける重要性を痛感した。また、住民の声を聴き、現場を歩き、「あるべき姿」から課題を構造的に分析し、制度の欠陥を「見える化」して提案するという、議員本来の役割と責任を改めて認識しました。

この研修で得た知識とスキルを活かし、単なる要望に終わらない根拠に基づいた政策提案を積極的に行い、地域課題の解決に貢献できるよう一層努力したい。実践的で有益な研修であった。



大好評につき緊急追加開催！！

新人議員研修 全国キャラバン

- ・一回参加した新人議員も参加可能
- ・同行する先輩議員も参加可能
- ・参加者満足度、脅威の96%
- ・わからないことがわかった。
- ・自分の街だけのルールだと知った。
- ・財政の大事さを理解できた。

1日通しで1000円

途中参加、途中退出自由

今まで5,000人の議員が受講した

新人向けセミナー

当選後の議員人生を左右するので

必ず受講ください

京都 6.30 月

東京 7. 5 土

名古屋 7.12 土

7.18 金

10:00~12:30

議員活動新人研修1

- ・1期目に絶対に注意してほしいこと
- ・セミナーで一番多い質問の共有
- ・職員からみた議員の見え方
- ・先輩議員に教えてもらおうとダメになる例
- ・基礎知識としての財政のポイント

13:30~16:00

議員活動新人研修2

- ・相手を知り自分を知る
～役所の仕組みと予算のスケジュール
- ・議会と議員が出来ること出来ないこと
- ・質疑や質問の組み立て方
- ・先進事例を自分の街で質問することの問題点
- ・過去5,000人が聞いた
役所を動かす質問の仕方の必須要件



川本 達志 かわもと たつし 元・廿日市市副市長

56年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7学陽書房)

FAX : 050-6868-9679

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
 【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み

mail@chihogiken.or.jp



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、参加される講座をお選びいただき チェックを入れて FAXで050-6868-9679宛にお送りください。

6/30(月) 京都	7/5(土) 東京	7/12(土) 名古屋	7/18(金) 博多
<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 13:30~16:00 議員活動新人研修1,2	<input checked="" type="checkbox"/> 10:00~12:30 13:30~16:00 議員活動新人研修1,2	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 13:30~16:00 議員活動新人研修1,2	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 13:30~16:00 議員活動新人研修1,2

お名前	フリガナ / 野村 明男	貴議会名	魚津市議会 (/ 期目)
電話番号	[Redacted]	FAX番号	() -
メールアドレス	vozugikai.nomura@gmail.com		
領収書のご宛名	魚津市議会 ようは 野村明男		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。		
郵送先住所 ※郵送ご希望の方は ご記入ください	〒 -		

京都 京都JAビル

〒601-8585
京都府京都市南区東九条西山王町1

京都市役所 西門南側
JR京都市役所線 八条駅 徒歩5分

近鉄京都市役所線 八条駅 徒歩7分

市営地下鉄(丸鳥線)京都市役所線 八条駅 徒歩7分

東京 リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7丁目21-3

東京メトロ丸の内線 西新宿駅 1番出口 徒歩1分

都営大江戸線 新宿西口駅 D4出口 徒歩8分

受講料

特別価格
1日通して **1000円**

受講料は【受講確認書】到着後、**事前のお振込み**をお願いいたします。

※キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

名古屋 リファレンス名古屋柴
貸会議室ナディアパーク

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄3丁目18-1 ナディアパーク 9F

地下鉄栄駅 徒歩7分

名古屋駅からタクシー15分

博多 リファレンス駅東ビル

〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル 7F

JR博多駅 築紫口 徒歩4分

博多イーストテラス(旧スターライン)方面へ向かい「アパホテル」角を右折。
左側ガラス張りのビル(階コインパーキング)

お問合せ 地方議員研究会

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

住所 〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大板駅前第2ビル 2階5-6号室

下記QRコードよりHPへアクセスできます。

政務活動費出金票

出金日	令和 7年 8月 5日		
項目	① 調査研究費 ④ 広聴費 ⑦ 資料作成費 ⑩ 事務所費	② 研修費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑧ 資料購入費	③ 広報費 ⑥ 会議費 ⑨ 人件費
摘要	よくわかる！市町村財政分析基礎講座		
金額	58,420 円		
支出内訳	① 宿泊費 7,800 円 (8月12日1泊 ホテルリブマックス立川駅前) ② 交通費 25,620 円 (黒部宇奈月温泉⇄西国分寺) ③ 参加費 25,000 円 (多摩住民自治研究所)		
領収書	 		

領収書

No. 250630-25085002-1
発行日 2025年8月12日

魚津市議会 よつば 野村明男 様

¥25,000-

但し、「市町村財政分析基礎講座」参加費
2025年7月10日 上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人 多摩住民自治研究所
〒191-0016 東京都日野市神前 1-1-103
TEL042-586-7651 FAX042-514-XXXX

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承認	会派会長印	経理責任者印

氏名 野村 明男

政務活動費旅費計算書

会派名

よつば

金額



33,420 円

(1人あたり

33,420 円)

用務	よくわかる！市町村財政分析基礎講座					
旅行先	東京都国分寺市泉町2-2-26 都立多摩図書館					
旅行期間	2025年 8月 12 日～ 2025年 8月 13日(1泊 2日)					
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計
鉄道賃	自	至	円	円	円	12,810 円
	自	至	円	円	円	12,810 円
	自	至	円	円	円	円
	自	至	円	円	円	円
	自	至	円	円	円	円
車 賃	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
	自	至	円	円	円	円
宿泊料	1泊分				7,800 円	
その他(駐車料金等)	(内訳)				円	
備考	鉄道賃 (黒部宇奈月温泉駅～東京駅はお盆特別料金)					
合計	33,420				円	

旅行議員氏名 野村明男

承認印	
会派会長	経理責任者
	

視察報告書

作成者：野村明男

よくわかる！市町村財政分析基礎講座

場所：東京都都立多摩図書館 セミナールーム

主催：NPO法人 多摩住民自治研究所

日時：2025年8月12日（火）～13日（水）

概要：財政を学ぶ意義について講話を聴き、その後、総務省が公表している各自治体の「決算カード」「類似団体比較カード」の読み方を学び、自治体財政分析表に魚津市のデータを書き込むことで自治体の財政分析手法の基礎を学んだ。歳入、歳出、収支状況、財政指標を講師の説明により分析表に記入する演習やグループワークで、疑問点も気軽に質問でき充実した2日間だった。

参加者 会場22名 オンライン参加15名

【1日目】（13：00～18：00）

第1講 議員・市民が財政を学ぶ意義

講師 日黒重夫氏（元府中市議会議員）

議員経験者の話を聞きながら市民や、議員が財政を学ぶ意義を考えた。また、府中市の財政分析や白書について話された。

第2講 財政収支はどうなっているか？収支の話

講師 石山雄貴氏（鳥取大学地域学部准教授）

自治体の財政収支の4つの見方について、分析シートを用いて財政運営の特徴をつかんだ。一般会計等は経年比較と類似団体比較をしないと分からないこと、実質収支比率が3～5%が望ましいことや経年比較でグラフの見方を学んだ。また、単年度収支や実質単年度収支の仕組みを聞き、自治体における黒字・赤字をいくつかの市町村を例にグラフの読み取り方を学んだ。

第3講 歳入の仕組み 4大財源の仕組み

講師 石山雄貴氏

自治体の様々な税収を理解するとともに、歳入構造についての講座であった。決算カードの決算額や経常一般財源等、一般財源と特定財源、自主財源と依存財源、経常財源と臨時財源の意味について学んだ。また地方歳入の4大財源（地方税、地方交付税、国庫支出金、地方債）が歳入の大部分を占めること、それぞれの見方や考え方を聞いた。

【2日目】（9：30～15：15）

第4講 歳出の仕組みを考える②目的別歳出

講師 石山雄貴氏

首長が重点の置いてきた政策を反映する目的別歳出について、首長が公約通り市政を展開してきたのか評価できることを学んだ。6大費目（総務費、民生費、衛生費、土木費、教育費、公債費）について、決算カードから転記して魚津市の財政状況を考察した。

第5講 歳出の仕組みを考える①性質別歳出

講師 石山雄貴氏

歳出の2つの分類について、経費の経済的性質に着目した性質別歳出を取り扱った。性質別歳出の科目順位や経常収支比率構成比率の推移を決算カードから転記し、経年比較を行いグラフの見方を聞いた。

第6講 財政指標の見方・考え方

講師 石山雄貴氏

健全化判断比率や実質債務残高比率、実質的将来財政負担額比率を求め、債務状況の把握をした。また、積立金（財政調整基金、特定目的基金）と公債費（公債費負担比率、実質公債費比率）を求め、その兼ね合いや、国が交付金を支給する考え方を聞いた。

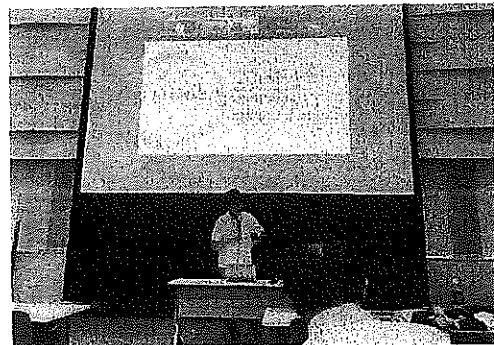
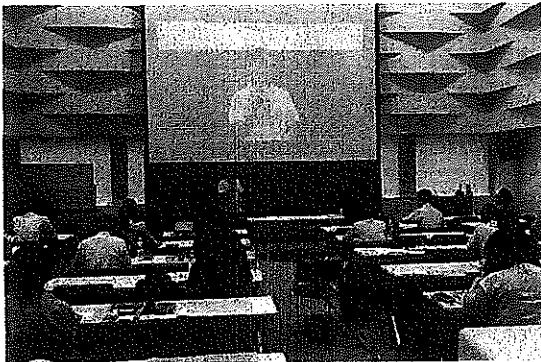
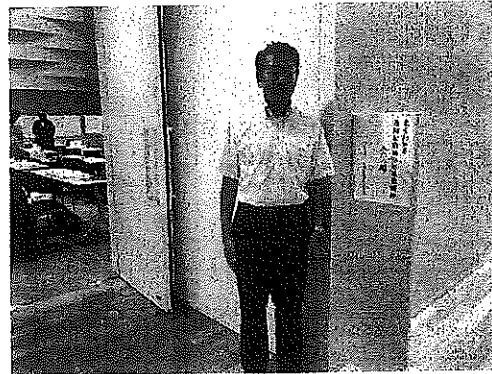
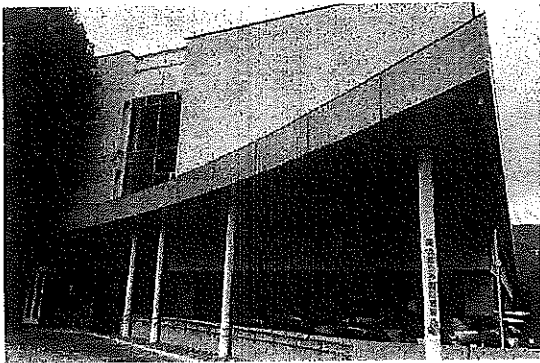
第7講 グループワークとまとめ

4グループに分かれ、2日間の講座を振り返り感想や思いを述べ合った。講師の先生からは、過去10年分を自分でやってみることを強く勧められた。

【感想】

- ・ 2年目の参加だったが、体系的なことは昨年より理解できた。
決算カードには歳入、歳出、収支比率、財政指標が書かれており、その中でもどの費目に注目すればよいかを改めて学ぶことができた。
- ・ 講師の先生の指示通りに分析表に数値を記入して、比率や指標を何とか出してしまうような財政状況が望ましいかを昨年に引き続き考え理解できたが、前年度決算、本年度、次年度予算とリンクしてとらえないと意味がないと再確認した。
- ・ 経年比較の大切さと自由に使える財源をどのように市政に反映していくか財政の仕組みをより理解することが議員として必要な資質だと感じた。

【野村明男】



新 大和田流



よくわかる! 市町村財政分析 基礎講座

大和田一紘氏の財政分析基礎講座を引き継ぎ、新たにリニューアルした講座です。

まずは、ご自分の市町村の財政を把握しましょう!

ご自分の自治体の財政を学ぶことは、
その自治体の課題をトータルにとらえる力を養うことです。

当講座では、自治体財政の一般論ではなく、
ご自分の自治体の財政状況を把握するための方法を学びます。
決算議会を前に財政分析の力をつけましょう。

会場+
オンライン
同時開催

2025年8月12日(火)・13日(水) 13:00~18:00 / 2日 9:30~15:30

【会場】都立多摩図書館 セミナールーム

【住所】〒185-8520 国分寺市泉町2-2-26 【アクセス】JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩1分

講師



石山雄貴氏
(鳥取大学准教授)



目黒重夫氏
(元府中市議会議員)

- 参加費：27,000円 (税込・以下同様)
【割引】・再受講 25,000円 ・町村議員 20,000円 ・多摩研会員(議員) 22,000円 ・市民 3,000円
・多摩研新規入会 21,000円 (町村議員 19,000円) ※「多摩研新規入会」の方は別途、年会費をいただきます。
- テキスト：『五訂版 習うより慣れろの市町村財政分析』
大和田一紘・石山雄貴・菊池稔 著、2,860円(税込)
- 宿泊：宿泊は各自でお手配ください。
- 申込方法

申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはemailでお申込。
もしくは、下記の申込フォームよりお申込ください。

<https://tamajichiken.wixsite.com/info>

[FAX] 042-514-8096 [email] tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp



講座の特徴

- 講師が公表している各自治体の「決算カード」の読み方を学び、自治体財政データの見方の基本を習得。
- ご自分の自治体の実際の財政データを使用し講義を進めるため、学びながらご自分の自治体への関心が広がっていくプログラム。
- 講師の他にパネランのアシスタントがいるので、小さな疑問や不明な点も気軽に質問でき、フォローが充実。

NPO法人 多摩住民自治研究所



〒191-0016 日野市神明3-10-5 エスプリ日野103

[TEL] 042-586-7651 [FAX] 042-514-8096 [email] tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp [HP] <http://www.tamaken.org/>

政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	令和 7年 8月 25日
項 目	① 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	・ 令和7年度富山県日台友好議員連盟会費
金 額	2,000 円
支出内訳	① 令和7年度富山県日台友好議員連盟会費 (令和7年8月25日)
領 収 書	領 収 書 令和7年度富山県日台友好議員連盟会費 令和7年8月25日 魚津市議会議員 野村 明男 殿 富山県日台友好議員連盟 会長 中川 忠昭

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 _____ 野村 明男

領 収 書

¥ 2,000 — ✓

ただし、令和7年度富山県日台友好議員連盟会費
として

令和7年8月25日

魚津市議会議員 野村 明男 殿 ✓

富山県日台友好議員連盟 ✓

会長 中川 忠昭



令和7年度


富山県日台友好議員連盟

総会・講演会



とき 令和7年7月29日(火)
午後2時～3時30分

ところ オークスカナルパークホテル富山
2階 鳳凰の間

政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	令和 7年 8月 25日		
項 目	① 調査研究費 ④ 広聴費 ⑦ 資料作成費 ⑩ 事務所費	② 研修費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑧ 資料購入費	③ 広報費 ⑥ 会議費 ⑨ 人件費
摘 用	・ 令和7年度富山県日韓友好議員連盟会費		
金 額	2,000 円		
支出内訳	① 令和7年度富山県日韓友好議員連盟会費 (令和7年8月25日)		
領 収 書	<p style="text-align: center;">領 収 書</p> <p style="text-align: center;">¥2,000-</p> <p style="text-align: center;">ただし、令和7年度富山県日韓友好議員連盟会費 として</p> <p style="text-align: center;">令和7年8月25日</p> <p style="text-align: center;">野村 明男 殿</p> <p style="text-align: right;">富山県日韓友好議員連盟会 </p>		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 野村 明男

令和7年度

富山県日韓友好議員連盟総会

とき 令和7年7月16日(水)
午後2時30分～



ところ 北日本新聞ホール

富山県日韓友好議員連盟

政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	令和 7 年 9 月 26 日
項 目	① 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	令和 7 年度北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する 富山県地方議員連盟会費
金 額	2, 0 0 0 円
支出内訳	①令和 7 年度北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する 富山県地方議員連盟会費 (令和 7 年 9 月 26 日) <div style="text-align: center;">領 収 書</div> ￥2, 0 0 0 - ただし、令和 7 年度北朝鮮に拉致された日本人を早期 に救出する富山県地方議員連盟会費として 令和 7 年 9 月 2 6 日 / <u>野村 明男 殿</u>
領 収 書	北朝鮮に拉致された日本人を早期に 救出する富山県地方議員連盟 会長 鹿熊 正

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 野村 明男

政務活動費出金票

出金日	令和 7年 10月 28日
項目	① 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘要	これからの自治を担う議会
金額	58,911円
支出内訳	① 宿泊費 10,581円 (10月28日 ホテルウィングインターナショナル 後楽園 10,481円、宿泊税 100円) ② 交通費 18,330円 (黒部宇奈月温泉—東京首都圏フリー往復) ③ 参加費 30,000円 (自治体議会政策学会)

Booking.com 予約番号: 5990533986

宿泊者情報
氏名: 野村明男 黒部市議会 議員
メールアドレス: tokyo@blackbird.com

チェックイン: 2025年10月24日
チェックアウト: 2025年10月29日

合計金額: ¥10,481

領収書

5489 黒部市議会
東京 → 東京
10月28日 6:55 AM → 11:55 AM
10月29日 6:55 AM → 11:55 AM

5489 黒部市議会
東京 → 宇奈月温泉
10月28日 16:32 → 17:52
10月29日 6:55 → 9:55

領収額: ¥18,330

領収書

5489 黒部市議会
東京 → 宇奈月温泉
10月28日 16:32 → 17:52
10月29日 6:55 → 9:55

領収額: ¥30,000

領収証


発行日: 2025年10月28日

黒部市議会 野村明男 様

¥30,000-

自治体議会政策学会

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承認	会派会長印	経理責任者印
		

氏名 野村 明男

政務活動費旅費計算書



会派名 よつば

金額 28,991 円

(1人あたり 28,991 円)

用務	これからの自治を担う議会					
旅行先	全水道会館					
旅行期間	2025年 10月 28日～ 2025年 10月 29日(1泊 2日)					
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計
鉄道賃	自 <small>黒部宇奈月温泉</small> 駅	至 東京 駅	円	円	円	18,330 円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
	自 駅	至 駅	円	円	円	円
車 賃	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
	自	至	円	円	円	円
宿泊料	1泊分				10,581 円	
その他(駐 車料金等)	(内訳)				円	
備考	鉄道賃 黒部宇奈月温泉駅ー東京首都圏フリー(往復)(乗車券あり)					
合計	28,911				円	

旅行議員氏名 野村明男

承認印	
会派会長	経理責任者
	

視察報告書

作成者：野村明男

これからの自治を担う議会

場所：全水道会館（東京都文京区本江丁目4-1）

主催：自治体議会政策学会

日時：2025年10月28日（火）～29日（水）

概要： 1日目は、自治体に喫緊の課題であるDX対応について、監査と内部統制の視点からDXを推進していくうえでの注意点を拝聴した。また、今年度の米不足の中、高齢化の進む農業を維持し、次世代に引き継いでいく農業とは何か、自治体が取り組むべきことを拝聴した。

2日目は、政治不信が昨今の選挙結果にも表れたことから、一番身近な地方議会が相互の意見や問題意識をもとに、熟議して物事を決めていく場所としての機能を発揮しているか。どこから改革に着手すればよいかなど今日的課題を拝聴した。また、政策形成機能強化に向けた4つの戦略を提案され、自治体の主要政策である予算・条例・計画に議員が関わるべきことを拝聴した。

参加者 会場約30名 他オンライン参加者

【1日目】（13：00～16：20）

第1講 監査する視点からのDX推進とは

一目を光らせるポイントは――

講師 紺野 卓 氏（日本大学商学部教授）

地方公共団体の監査について、行政の事務が多様化する中、監査委員監査は業務範囲の拡大とともに責任の拡大が予想される。責任を適正に果たすポイントとして

- 1 適正な監査基準と同基準に忠実に従った監査の実施
- 2 的確な情報提供の必要性
- 3 内部統制ガイドラインへの対応（委託者責任の明確化）
- 4 行政事務のDXへの対応（自前でできる自治体はない）をあげられた。

<感想>

- ・ 正当な注意義務は社会情勢等によっても変化するので、監査委員には時代に適応した的確な監査が求められ、その重要性が高まってきている。
- ・ DXの推進で業務の効率化は進むが新たなリスクが発生されることが予見される。PDCAサイクルを活用し普段の見直しを行い、適切なリスク管理が必要である。
- ・ 魚津市においてもDX専門人材育成やベンダーロックインからの脱却が求められる。

第2講 コメを守れ・地域を守れ

—自治体の食料・農業政策—

講師 山田 正彦 氏 (弁護士・元農林水産大臣)

日本の米の自給率や消費量の推移や戦後の農業政策、外国との比較などから、米不足対策や農業従事者を増加させる方策、米価格高騰を抑える方策について拝聴した。

また、オーガニック給食の必要性を発達障害児とネオニコチノイド農業出荷量との関連を指摘し、韓国や宮崎県のオーガニック給食条例、全国オーガニック給食協議会についても紹介された。

<感想>

- ・ 米不足は2021年から始まり、過度の減反政策や実際の作況指数とのずれ、米国の米輸入圧力等様々な要因があるが、農業従事者が農業で食べていけるための制度（新規農業従事者には国の助成金等）が必要である。また、6次産業化も有効である。
- ・ 米価格を抑えるためには、農水省は減反政策を4割から3割に緩和して生産量を増やすことや中国のように少なくとも1年分の備蓄量（1200万トン）を確保すべきである。
- ・ 米の複雑な流通を簡素化して、生産者から消費者への直接販売のルールを制度化することが必要だと思う。
- ・ 魚津市でも月一回でもオーガニック給食を実施して、子どもたちが有機栽培の長所を学ぶべきではないか。

【2日目】 (10:00~14:30)

第3講 議会や制度の改革の第一歩

—政治不信解消へできること—

講師 大山 礼子 氏 (駒澤大学 名誉教授)

地方議会の未来には、議会不振となり手不足の2つの暗雲があるとの考えで、持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくためには、地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の利害や立場の違いを包摂する地域社会の在り方を議論する議会の役割がより重要となる。なぜ、議会は信用されないのか。①遠い存在、②政策決定に住民の意見が反映されていない、③何をやっているのか見えない。多様性ある地方議会の実現や選挙制度の改革、住民との関係の再構築などにも言及して話された。

<感想>

・女性の参加拡大は多様性確保の第1歩である。逆に無投票当選が多くなれば、住民代表といえるのか、選挙や政治の関心がますますなくなってしまう。それでは政治分野において議会は何ができるのか。1つには八戸市のように人材の発掘や育成、支援が必要である。2つ目には女性議員が働きやすい環境、例えば育児室などを整備すること、ハラスメントの防止も重要になってくると思う。

・また、市町村議会選挙では「制限連記制」という複数選べる選挙制度も女性が入りやすい制度ではなかろうか。

第4講 議会における政策づくりのポイント

講師 磯崎 初仁 氏 (中央大学法学部教授)

講義の骨子は以下の通りであった。

- 1 地方議会の機能と政策形成
 - ・2元代表制の考え方など
- 2 議会の政策形成機能の強化4つの戦略
 - ・議員の制作力の強化など
- 3 政策形式ごとの審議・作成のポイント
 - ・自治体計画の審議など

<感想>

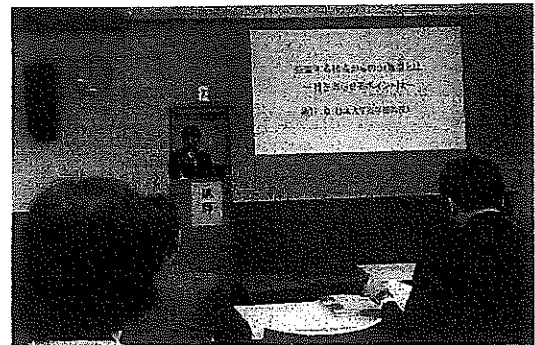
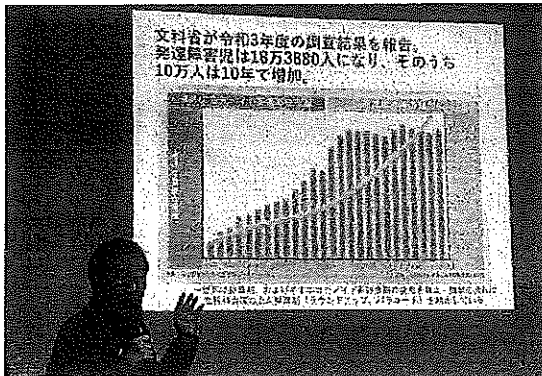
・有権者の期待は行政監視（会計責任や監査）よりも地方の地域づくりの方が大きい。いつも代替案をもって質問や監視をすべきで、緊張感ある政策論議が必要である。諮問型議会から「政策形成型議会」へ、自立型議会から「協働型議会」へかわることが重要である。

・政策力とは①基礎知識②実務知識③問題への応用力が議員の政策力を強化することになり、それらは議員活動の中で要請されることに共感。

・自治体の基本計画のチェック項目として①目的と手段があるか（どんな条例で予算か）②目標は検証可能か③自治体の強みや弱みを反映しているか④過去の評価や達成感を踏まえているかが大切であると理解した。

・予算案のチェックでは①地域課題の解決にどれだけ役立つか（有効性）②積算は妥当か（効率性）要するにコスパのいい事業になっているかを厳しくチェックすることを再認識した。

【野村明男】



これからの自治を担う議会

3週間の見逃し配信付き!

2025年 ーみんなで進める政策づくりー 第25期自治政策講座in東京3

10月28日(火)・29日(水) 全水道会館 X オンライン (東京都文京区水道橋駅) (ZOOM) 自治体議会政策学会 Councillors' Organization for Policy Argument



10月28日(火)

10月29日(水)

<p>第1 講義 13:00~14:30</p> <p>監査する視点からのDX推進とは 目を光らせるポイントは</p> <p>紺野 卓 日本大学商学部 教授</p>	<p>第2 講義 14:50~16:20</p> <p>コメを守れ・地域を守れ ー自治体の食料・農業政策</p> <p>山田 正彦 弁護士・元農林水産大臣</p>	<p>第3 講義 10:00~11:30</p> <p>議会や制度の改革の第一歩 ー政治不信解消へできること</p> <p>大山 礼子 駒澤大学 名誉教授</p>	<p>第4 講義 13:00~14:30</p> <p>議会における政策づくりのポイント ー自治体議員の政策づくり</p> <p>磯崎 初仁 中央大学法学部 教授</p>
--	---	---	---

▼「デジタルによるビジネスや生活の変容」を指すDX。自治体に導入され社会で推進された変化が真に住民の生活のためになるのか、点検し正しく導くのは議会や住民自治の力です。DXの導入によってサービスの悪化や社会の劣化を招かぬように監視する視点も必要です。▼また、トランプ関税にみる貿易交渉がどのように人の暮らしや地域経済に影響を与えるのか、特に米の高騰で注目された農業・食糧問題で自治体の役割が問われています。▼そして、多様性の時代、国際問題も複雑化する中で、議会が正しく時代の変容に対応するのか、地域住民のすべてが力を発揮するための仕組みを考える必要があります。格差が広がり一層厳しくなる住民の暮らしに答えられる議会に、地域自治を担う先頭に議会があるために、政策はどのように作るのか、改めて問われています。▼各課題で積極的に提言されている第一人者の先生方にお話を伺います。

受講料：2日間 30,000円 1日のみ 20,000円
 参加方法：全水道会館（東京都文京区・水道橋駅）・オンライン（ZOOM）
 お申込方法：下記申込書またはQRコードからお申込みください。



◎お申込み後に受講確認票をお送りします。◎記載に従って、お申込み内容のご確認と受講料のお振り込みをお願いいたします。

お申込み用紙 FAX: 03-5227-1828 第25期自治政策講座in東京3

▼氏名 (フリガナ) 野村 明男 ▼E-mail vozugikai.nomura@gmail.com
 ▼住所 〒937-0042 富山県魚津市六郎丸893-12 ▼所属 (議会・団体名) 魚津市議会

申込日の参加方法に
 ✓を入れてください

全日程参加	◇10月28日(火)~29日(水)	1日のみ参加	◇10月28日(火)	<input type="checkbox"/> 会場	<input type="checkbox"/> ZOOM
30,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> ZOOM	20,000円	◇10月29日(水)	<input type="checkbox"/> 会場	<input type="checkbox"/> ZOOM

本講座を何で知りましたか? DMチラシ DMメール COPA NEWS 会派の案内 議会事務局の掲示等 知人・同僚等の紹介 雑誌広告 SNS その他 ()

備考

政務活動費出金票

出金日	令和 7年 11月 19日		
項目	① 調査研究費 ④ 広聴費 ⑦ 資料作成費 ⑩ 事務所費	② 研修費 ⑤ 要請・陳情活動費 ⑧ 資料購入費	③ 広報費 ⑥ 会議費 ⑨ 人件費
摘要	失敗しない議員活動		
金額	60,410 円		
支出内訳	① 宿泊費 11,970 円 (11月18日 京都ユウベルホテル 11,770 円、宿泊税 200 円) ② 交通費 18,440 円 (魚津ー京都 往復) ③ 参加費 30,000 円 (地方議員研究会)		
領収書	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ユウベルホテル 領収書 魚津市議会よつば 野村 明男 様 現金金額 ¥11,970 現金にて精算いたしました。</p> <p>京都府京都市南区西九条五丁目1番18号 ユウベル株式会社 取引番号: 00102211184275 2025/11/18 16:43 お部屋番号: 632 ご利用期間: 2025/11/18 - 2025/11/19</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>利用明細</p> <p>現金 ¥11,970 お部屋番号 632 お支払内訳 現金 ¥11,970 カードキーは電子ロックアクトの取扱いに必ずご留意ください。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>領収証 2025年11月18日 魚津市議会 よつば 様</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">¥30,000</p> <p>但 2025年11月18日(火)13時～15時開演【京都】演劇を学ぶ機会になる「舞台芸術の“型”と“魂”」を聴きと演劇講座 2025年11月19日(水)09時～12時開演【京都】演劇を学ぶ機会になる「舞台芸術を学ぶ機会」を聴きと演劇講座 研修会受取代として上記正に預けいたしました。</p> <p style="text-align: right;">地方議員研究会 〒221-0042 神奈川県横浜市中区神奈川区 TEL 050-1089-9835</p> </div> <div style="width: 45%;"> </div> </div>		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏名 野村 明男

政務活動費旅費計算書

会派名

よつば

金額



30,410 円

(1人あたり)

30,410 円)

用務	失敗しない議員活動					
旅行先	京都JAビル					
旅行期間	2025年 11月 18日～ 2025年 11月 19日(1泊 2日)					
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計
鉄道賃	自	魚津 駅 至 富山 駅	円	円	円	1,200 円
	自	富山 駅 至 京都 駅	円	円	円	17,240 円
	自	駅 至 駅	円	円	円	円
	自	駅 至 駅	円	円	円	円
	自	駅 至 駅	円	円	円	円
車 賃	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
	自	至	円	円	円	円
宿泊料	1泊分				11,970 円	
その他(駐車料金等)	(内訳)				円	
備考						
合計	30,410				円	

旅行議員氏名 野村明男

承認印	
会派会長	経理責任者
	

視察報告書

作成者：野村明男

失敗しない議員活動

場所：京都JAビル（京都市南区東9条西山王町1）

主催：地方議員研究会

日時：2025年11月18日（火）～19日（水）

概要： 1日目は、議会活動の「型」と「戦略」を知ることを目的に、実績を出す議員になるためには、議会活動における構造・ルール・空気を読み解き「動ける議員に」なることが必要で、そのための基本と応用について、経験や実践的な話を伺った。

2日目は、議会質問は「技術」で決まる。その成果を生む質問力、理解と設計の極意をテーマに、まず、質問の原則と構造、質問の分類と戦略、質問のスキルと技術、質問レベルの4段階について講義を受けた。次に、伝わる質問や動かす質問、成果が残る質問の技術の具体例を経験と実践に基づいた講義を拝聴した。

参加者 会場35名 オンライン参加6名

【1日目】（13：30～16：00）

第1講 実績を出す議員になる！議会活動の型と戦略を知る実践講座

—議会の構造・ルール・空気を読み解き「動ける議員」になるための基本と応用を伝授—

講師 高橋 伸介 氏（元大阪府枚方市議会議員）

- 1 議会は誰にあるのかを再定義する
- 2 議会要務令～議員の心得～
- 3 議会基本条例と議会改革の流れ
- 4 SNSの炎上と議会内活動
- 5 会派に属す意味とリスク
- 6 ルール違反にならないための議会マナー完全解剖
- 7 地方制度調査会からこれからの議会を読み解く

(考察)

- ・講師は信用金庫からオンブズマンを経て一人選挙で勝ち上がり、4期16年を務めたベテランで経験豊富で、特に1期目は行政に対して一方的に質問力に磨きをあげていた。2期目からは合意形成と環境情勢が重要と考え当局や議員間の対話を重視したことで情報が豊富となり、議員活動を真摯にされていたことに敬意を表した。中でも2期目に考えられた以下の「議会要務令」は参考にしたい。

議会では、最上のものを目指さない

議会では、議員全員のレベルの半歩前を提案する

議会では、徹底して合意形成に努力する。

議会では、「私」を捨てる

議会では、出きれば議員全員と付き合う

【2日目】 (10:00~12:30)

第1講 議会質問は技術で決まる！成果を生む質問力 理解と設計の極意

—伝わる質問、動かす質問、成果が残る質問の技術を全公開！—

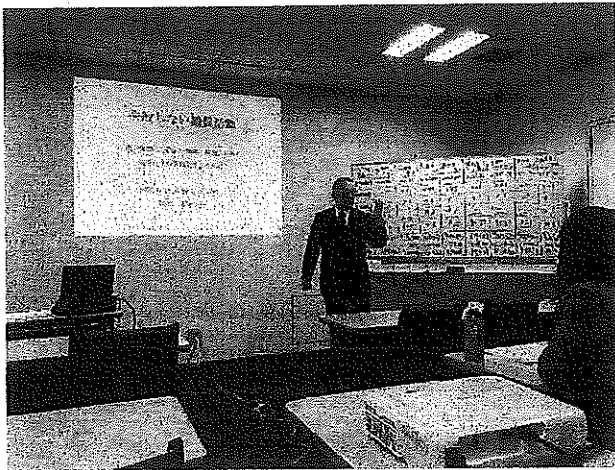
講師 高橋 伸介 氏 (元大阪府枚方市議会議員)

- 1 地方議会の結論から
- 2 議会会議規則での質問を認識することから
- 3 重要な一般質問のポイント
- 4 質問の分類
- 5 知っていることは聞き、知らないことは聞かない
- 6 質問の貯金箱とAI, RESASと壁打ち活用術
- 7 議員活動にはOODAが最適
- 8 議員は有権者からどのように思われているか

(考察)

- ・質問は議員のポリシーを述べるのではなく、事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことの意味を改めてかみしめ、今後の質問内容に齟齬が無いように努め、市民の福祉の向上や市政の発展につながるようにしていきたい。

- 100の議会があれば100通りの議会運営があり、100人の議員がいれば100の正義があり、議会は議員により合議し議決する機関であることから、議会や行政の中で共感を得るための努力が必要で、議員の資質は、「何事も謙虚な姿勢と誠実さが全て」で人はそれを見ているとの言葉が印象的だった。質問やヒアリングにも人柄がにじむと思われるので、高圧的でなく謙虚に接するように努力してまいりたい。ただ、本会議での質問は役者になる必要があるとの言葉も心にとめておきたい。【野村明男】



■ 10年目までの議員限定

■ 過去2000人が受講

失敗しない議員活動

貴方の疑問がスッキリ解決します。

自分の議会内で直接言われたい指摘を第三者の目線で理解でき課題を全国の議員と共有できるセミナー

2025
11.18 火

京都開催

13:30 ▶ 16:00

実績を出す議員になる!

議会活動の“型”と“戦略”を知る実践講座

～議会の構造・ルール・空気を読み解き、
「動ける議員」になるための基本と応用を伝授!～

- ・「議会は誰のためにあるのか?」を再定義する
▶ 議会はムラ。ムラ人の信頼を得るには?
- ・議会要務令～議員の心得～
▶ 貴方が正しくても、他の議員も正しい?
- ・“議会基本条例”と議会改革の流れ
▶ 自治体ごとにルールが違う?
- ・SNSの炎上と議会内活動
▶ 1人会派での闘い方とよくある失敗例
- ・会派に属す意味とリスク
▶ 協調と独自性をどう両立させるか
- ・“ルール違反”にならないための議会マナー完全解剖
▶ ムラの掟と、新人議員のお作法など
- ・実現したいなら根回しをしよう
▶ 変えられないと騒いでも変わらないし変えられない
- ・“議案の読み解き方”で差がつく審議力
▶ 行政の意図を読み、聞くべきポイント
- ・「議会運営」に口を出す議員は伸びる?
▶ ルールを理解した者だけが変えられる
- ・成果に直結する「議事録の使い方」
▶ 活動の前に議事録を検索しよう

2025
11.19 水

京都開催

10:00 ▶ 12:30

議会質問は“技術”で決まる

成果を生む質問力 理解と設計の極意

～伝わる質問、動かす質問、成果が残る質問の技術を全公開!～

- ・“良い質問”は、議会が静まり返る
▶ 印象でなく“構造”で動かすテクニック
- ・「通告」から勝負は始まっている
▶ 通告段階で“逃げ答弁”を潰す方法
- ・意味のない質問からの卒業を
▶ 質問するだけの質問は無駄
- ・質問は分類で考える
▶ 調査型/提案型/追及型
- ・成果を得るには“質問後”の動きが8割
▶ 答弁を放置せず、どう繋げるか?
- ・質問は任期を考えてから逆算する
▶ 自分の議員像とストーリーを意識
- ・質問は知らないことは聞かない極意
▶ 質問とはなんのためにするのか
- ・行政が動きやすい“提案の伝え方”
▶ 対立せず協力を引き出す言葉選び
- ・質問は手段。質問以外でやるべきこと
▶ 質問力は交渉力の一部でしかない
- ・質問レベルの4段階
▶ 財政がわからない。では話にならない



たかはし しんすけ

講師 高橋 伸介

1953年京都市生まれ。佛教大学社会学部卒業、京都信用金庫支店長代理等を経て、平成11年より平成27年4月まで4期16年大阪府枚方市議会議員、平成25年5月より議会改革調査特別委員会委員長として議会改革に取り組む。平成26年4月枚方市議会基本条例施行。同年より枚方市議会副議長を務める。平成27年4月議員任期と副議長公務を終える。